

泉の里地・里山・里水自然観察日記

日時： 2016年2月21日(日)

場所： 泉ビオトープのふるさと ～ 谷戸城

天気： 晴れ 気温11度 水温9度

今年の二十四節季の「雨水」は、2月19日頃とのこと。雨水は空から降るものが雪から雨にかわる頃、深く積もった雪も融け始めるという意味だそうです。今日は風が強かったので、気温のわりには肌寒く感じました。風速1メートルで体感温度は1度下がるそうです。

春の七草を探してみましたが、全部を見つけることはできませんでした。最も、スズナ(蕪)やスズシロ(大根)は栽培作物ですから、自然の中では見つけれません。

セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、花が咲いていたのはナズナだけでした。セリは用水路の中に、ハコベラはオオイヌノフグリと一緒に陽だまりの土手に、ゴギョウとホトケノザはロゼットの形で田んぼの中でした。



富士山



南アルプス連峰



八ヶ岳



城南の谷戸田



ビオトープ入り口



ビオトープ水路



観察中



クヌギカメムシの卵



コブシの木



ビオトープ水路下流



衣川



マツヨイグサのロゼット



南アルプス連峰



オオイヌノフグリ



ヒメオドリコソウ



陽だまりの野草



ホトケノザ



天然記念物のモミ

寒風に舞散る枯れ葉と思いきや 必死に羽ばたき流れゆく蝶